

2009年3月期第2四半期決算説明会

2008年11月

新コスモス電機株式会社

(証券コード:6824 ジャスダック証券取引所)

目次

I .会社概要・事業内容

II .2009年3月期(第2四半期)決算概況

III .2009年3月期(通期)業績見通し

IV .トピックス

I .会社概要・事業内容


会社概要

- 社名 新コスモス電機株式会社
- 本社 大阪市淀川区三津屋中2丁目5番4号
- 代表者 代表取締役社長 重盛 徹志
- 設立 1960年6月
- 事業内容
 - ・各種ガスセンサの研究開発及び製造
 - ・ガス警報器・検知器の製造及び販売、メンテナンス
- 資本金 1,460百万円(2008年/9月末)
- 連結子会社 3社
- 従業員数 408名(単体)、514名(連結)
(2008年/9月末)
- 主な販売先 大阪ガス、岩谷産業、東京ガス
東邦ガス、東京電力、大陽日酸等



沿革

2008年3月期売上高：175億円

- 
- 1960年 設立
 - 1964年 世界初、家庭用可燃性ガス警報器を発売
 - 1967年 世界初、自動吸引式携帯用ガス検知器を発売
 - 1969年 半導体式ガスセンサを応用した家庭用LPガス警報器生産開始
 - 1970年 工業用定置式ガス警報器発売
 - 1973年 コスモス研究所設立
 - 1980年 家庭用都市ガス警報器販売開始
 - 1992年 新コスモス電機メンテナンス株式会社設立
コスモスサービス株式会社設立
 - 1993年 イスズ電機株式会社を子会社化
 - 1996年 株式を店頭(現JASDAQ)に上場
ISO 9001認証取得
 - 1997年 上海新宇宙煤気監控設備有限公司設立
 - 2000年 住宅用火災・ガス漏れ複合型警報器発売
ISO 14001認証取得
 - 2004年 煙感知式住宅用火災警報器を能美防災株式会社と共同開発
 - 2007年 新考思莫施電子(上海)有限公司設立

ネットワーク

- 本社
- 支社・営業所(9カ所)
- 出張所(7カ所)
- 海外拠点(3カ所)
- 工場(4カ所)



2008年10月

志摩工場・姫路出張所
を開設

当社の特徴

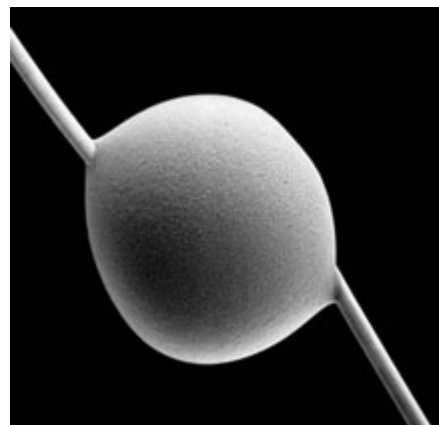


ガスセンサのラインナップ

熱線型半導体式センサの特長と原理



センサ外観例

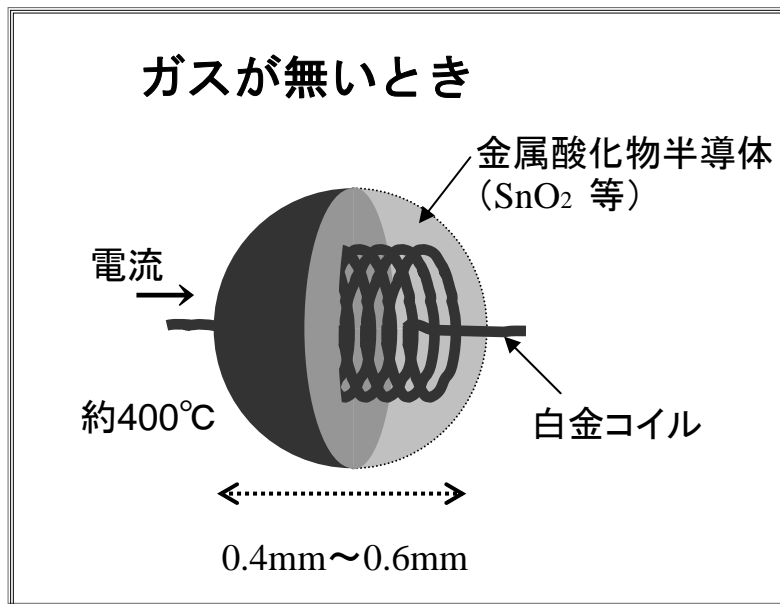


センサ拡大写真

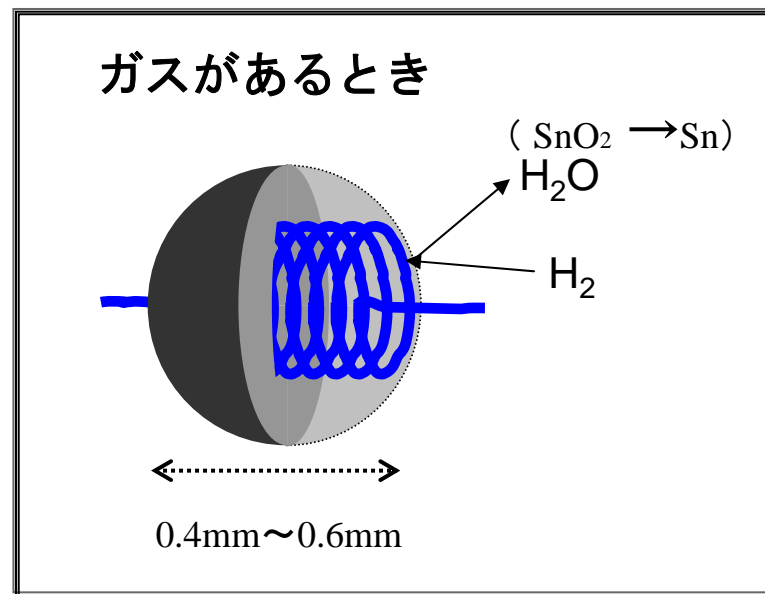
特長

- 高感度
- 長寿命で長期安定性に優れている
- 水素、メタン、プロパンガス、一酸化炭素などの測定ができる

ガス検知の仕組み



ガスセンサ表面に酸素が吸着(酸化)し、電流が流れにくい状態になっている



ガスセンサの表面に可燃性ガスが接触すると、センサから酸素を奪い(還元)、電流が流れやすくなる

上記のような、ガスがあるときと無いときの流れる電流の量の差を測ることで、ガスを検知している

当社の特徴

ガス警報器の専門メーカー

世界で初めて家庭用ガス警報器を開発
家庭用ガス警報器で業界ナンバーワンのシェア
高感度(1ppm)半導体式センサを用いた工業用ガス警報器の開発
高度なセンサ技術力で、家庭用から工業用までラインナップ

優れた技術開発力

ガスセンサの研究開発を行う「コスモス研究所」
国内450件以上、国外50件以上の知的財産権を獲得

海外戦略

中国に合弁会社および現地法人を設立

品質

ISO 9001
トレーサビリティシステム
長期特性試験

環境

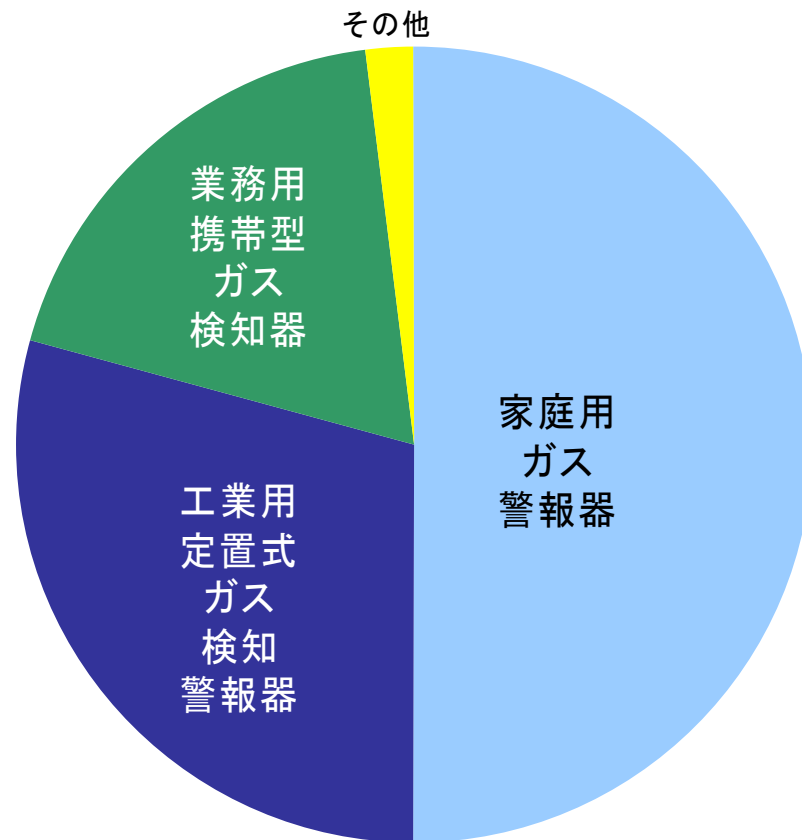
ISO 14001
チーム マイナス6%への参加

健全経営

設立4期以降46年にわたり黒字、実質無借金経営

商品別売上高構成

- 家庭用ガス警報器 約48%
- 工業用定置式ガス検知警報器 約30%
- 業務用携帯型ガス検知器 約20%
- その他 約2%



家庭用ガス警報器

市場

国内市場:約200億円と推測

家庭用ガス警報器普及率 都市ガス用:約40% LPガス用:約80%

当社シェア

約40% (都市ガス用約60%、LPガス用約30%)

特徴

- 1964年:世界で初めて家庭用ガス警報器を開発、累計4500万台以上生産
- 1985年:世界初音声合成式ガス警報器の開発、1995年:国内初のLPガス用不完全燃焼警報器の開発・ガス警報器として初めてのエコマーク認定商品の開発 など、新機能開発に注力
- 2004年より住宅用火災警報器市場に参入
- 都市ガス事業者・LPガス事業者を通じて販売

家庭用ガス警報器



都市ガス警報器



LPガス警報器



住宅用火災警報器

工業用定置式ガス検知警報器

市場

国内市場:約200億円と推測

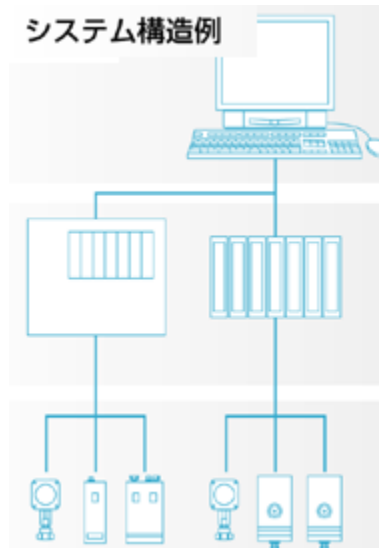
当社シェア

約30%

当社の特徴

- 高感度半導体式センサを工業用ガス検知警報器に初めて採用
- グラフィック機能を搭載した総合監視システムを開発
- センサユニット交換方式でメンテナンスコスト低減を追及
- エンジニアリング会社、ガスディーラー等を通じて販売

システム構造例



工業用定置式ガス検知警報器

業務用携帯型ガス検知器

市場 当社シェア
国内市場: 約100億円と推測 約30%

当社の特徴

- 都市ガス事業者等と、ガス漏れ探知器、CO測定器などを共同開発
- 3R(リサイクル・リユース・リデュース)を追求する商品開発
- 小型・軽量化、小電力化の追求
- 代理店を通じて販売



携帯型ガス検知器

その他

- ニオイセンサ
「ニオイを数値化する」という新しい発想をもとに幅広い分野に展開



ニオイセンサ

- 空気質測定
室内の有害化学物質や空気の汚れを検知



換気扇コントローラ

- 電気品火災予知
ニオイセンサを応用して、電気品の異常発熱を早期に発見



CAN熱くん

- ポータブル分析装置
VOCや水素など、ppbレベルの低濃度で測定する簡易分析装置



ポータブル分析装置

II .2009年3月期(第2四半期)決算概況

2009年3月期第2四半期決算ポイント(連結)

■ 売上高：8,764百万円(前年同期比3.5%増)

- 家庭用ガス警報器：4,245百万円(同0.7%増)
- 工業用定置式ガス検知警報器：2,631百万円(同7.8%増)
- 業務用携帯型ガス検知器：1,740百万円(同2.2%増)
- その他：147百万円(同35.6%増)

■ 営業利益：796百万円(前年同期比2.7%増)

- 経常利益：831百万円(同2.8%増)
- 四半期純利益：472百万円(同2.1%減)

・エネルギー業界等での定置式ガス検知警報器、労働安全衛生市場での携帯型ガス検知器が好調に推移して増収

・それに伴い営業利益・経常利益は増益となるが、会計基準の変更による税算出方法の変更のため、純利益は減益

2009年3月期第2四半期決算概要(連結)

	2008年3月期 (第2四半期)		2009年3月期 (第2四半期)		増減	
	金額 (百万円)	構成比 (%)	金額 (百万円)	構成比 (%)	増減額 (百万円)	増減率 (%)
売上高	8,470	100.0	8,764	100.0	+294	+3.5
家庭用ガス警報器	4,216	49.8	4,245	48.4	+29	+0.7
工業用定置式ガス検知警報器	2,442	28.8	2,631	30.0	+189	+7.8
業務用携帯型ガス検知器	1,702	20.1	1,740	19.9	+38	+2.2
その他	108	1.3	147	1.7	+39	+35.6
売上総利益	3,654	43.1	3,757	42.9	+103	+2.8
営業利益	775	9.1	796	9.1	+21	+2.7
経常利益	808	9.5	831	9.5	+23	+2.8
四半期純利益	482	5.7	472	5.4	△10	△2.1
1株当たり四半期純利益	39.04円	-	38.21円	-	-	-

損益計算書の概要(連結)

	2008年3月期 (第2四半期)		2009年3月期 (第2四半期)			
	金額 (百万円)	構成比 (%)	金額 (百万円)	構成比 (%)	増減額 (百万円)	主な増減要因
売上高	8,470	100.0	8,764	100.0	+294	工業用定置式ガス検知警報器および 業務用携帯型ガス検知器の売上増
売上原価	4,815	56.9	5,007	57.1	+192	
売上総利益	3,654	43.1	3,757	42.9	+103	
販管費	2,879	34.0	2,960	33.8	+81	
営業利益	775	9.1	796	9.1	+21	
経常利益	808	9.5	831	9.5	+23	
四半期純利益	482	5.7	472	5.4	△10	税金費用特有の会計適用

貸借対照表の概要(連結)

	2008年3月期 (期末)		2009年3月期 (第2四半期末)			
	金額 (百万円)	構成比 (%)	金額 (百万円)	構成比 (%)	増減額 (百万円)	主な増減要因
流動資産	16,976	73.9	17,296	74.3	+320	
固定資産	6,000	26.1	5,990	25.7	△10	
資産合計	22,976	100.0	23,287	100.0	+311	売上債権の減少 △635 現金及び預金の増加 +725 たな卸資産の増加 +273
流動負債	4,019	17.5	4,046	17.4	+27	
固定負債	878	3.8	895	3.8	+17	
負債合計	4,898	21.3	4,941	21.2	+43	その他負債の減少 △335 支払手形及び買掛金の増加 +314 賞与引当金の増加 +96
純資産合計	18,007	78.7	18,345	78.8	+268	利益剰余金の増加 +225
負債・純資産合計	22,976	100.0	23,287	100.0	+311	

キャッシュ・フローの概要(連結)

(百万円)

	2008年3月期 (第2四半期)	2009年3月期 (第2四半期)	主な要因
営業キャッシュ・フロー	927	1,268	法人税等の支払額 $\Delta 320$ 税金等調整前四半期純利益 +805 売上債権の減少 +635
投資キャッシュ・フロー	$\Delta 306$	$\Delta 294$	有形固定資産の取得 $\Delta 290$
フリーキャッシュ・フロー	620	974	
財務キャッシュ・フロー	$\Delta 247$	$\Delta 247$	配当金の支払い $\Delta 247$
現金及び現金同等物の増減額	371	726	
現金及び現金同等物の四半期(中間)期末残高	7,940	8,643	

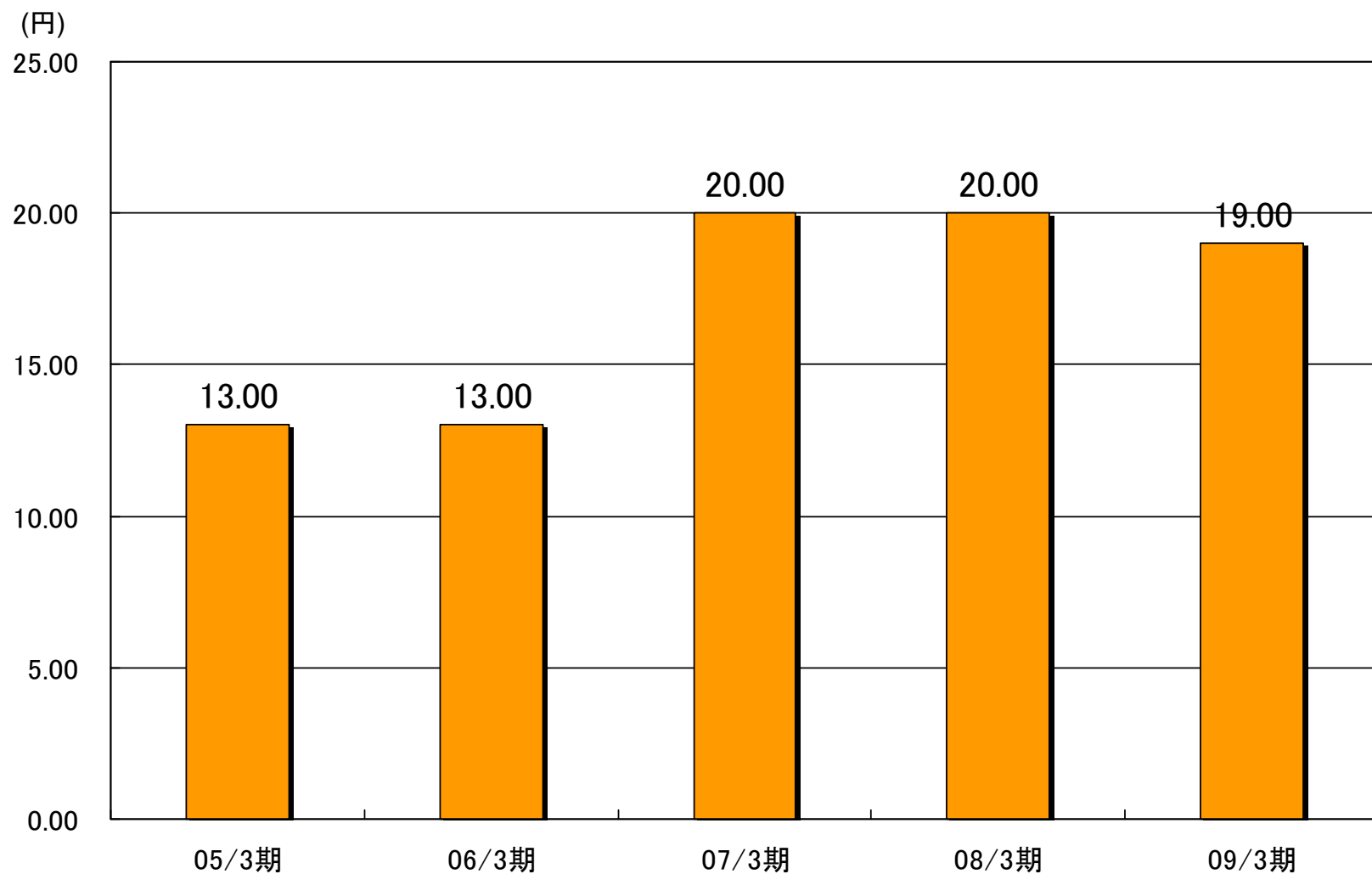
Ⅲ.2009年3月期(通期)業績見通し

2009年3月期(通期)決算見通し(連結)

	2008年3月期(実績)		2009年3月期(計画)		増減	
	金額 (百万円)	構成比 (%)	金額 (百万円)	構成比 (%)	増減額 (百万円)	増減率 (%)
売上高	17,513	100.0	18,080	100.0	+567	+3.2
家庭用ガス警報器	8,059	46.0	8,460	46.8	+401	+5.0
工業用定置式ガス検知警報器	5,569	31.8	5,670	31.4	+101	+1.8
業務用携帯型ガス検知器	3,608	20.6	3,570	19.7	△38	△1.1
その他	276	1.6	380	2.1	+104	+37.7
営業利益	1,613	9.2	1,520	8.4	△93	△5.8
経常利益	1,680	9.6	1,575	8.7	△105	△6.3
当期純利益	976	5.6	920	5.1	△56	△5.7
1株当たり当期純利益	78.97円	-	74.37円	-	-	-

* 当期初めの予想からの変更はありません

ご参考：1株当たり配当金の推移



* 07/3期は株式上場10周年記念配当2円を含む。

(予想)

IV.トピックス

- 中期経営計画2008-2010
- ガス警報器市場の新たな動きと当社の取り組み

中期経営計画2008－2010の概要(連結)

(単位:百万円)

	2008年度 (2009年3月期)	2009年度 (2010年3月期)	2010年度 (2011年3月期)
売上高	18,080	18,780	20,200
家庭用	8,460	8,500	9,350
工業用定置式	5,670	6,030	6,420
業務用携帯型	3,570	3,850	3,980
その他	380	400	450
営業利益 ()内は営業利益率	1,520 (8.4%)	1,560 (8.3%)	1,900 (9.4%)

中期経営計画2008－2010の事業戦略

■ 産業用ガス検知警報器部門

- 新エネルギー市場(水素エネルギー、燃料電池)、半導体・自動車産業への重点的な取り組み
- 温泉関連施設でのガス検知警報器需要の取り込み
- 首都圏での営業力強化

■ 家庭用ガス警報器・住宅用火災警報器部門

- 住宅用火災警報器の既存住宅への取り付けの本格化を見込む
(消防法改正により2011年5月末までに全戸設置義務化)
→商品ラインナップの整備、販売ルートの確立による販売力向上

■ 新規事業

- ポータブル分析装置・・・独自の熱線型半導体式センサを使用
- 換気扇コントローラ・・・換気扇の運転を制御して、省エネに貢献
- 電気品異常早期感知システム・・・ニオイセンサを応用して、電気品の火災を早期に検知

■ 海外展開

- 2010年度海外売上高比率10%
(中国での産業用ガス検知警報器売上高10億円)を目指す
・・・中長期目標である海外売上高比率30%の足がかり

■ 設備投資計画

- 3年間で50億円

ガス警報器市場の新たな動きと 当社の取り組み(1)

温泉法改正により、可燃性天然ガス(メタン)の測定が義務化



20,000箇所の温泉源泉、2,000箇所程度と推定される可燃性天然ガス湧出源泉などで、ガス濃度の測定が必要

可燃性ガス検知器・警報器の新しい市場

【市場規模】(当社推定)

携帯型ガス検知器:約3億円

定置式ガス検知警報器:約4億円

当社の取り組み

各方面への協力と情報収集により、いち早く
「温泉用複合型ガス検知器」を市場に投入



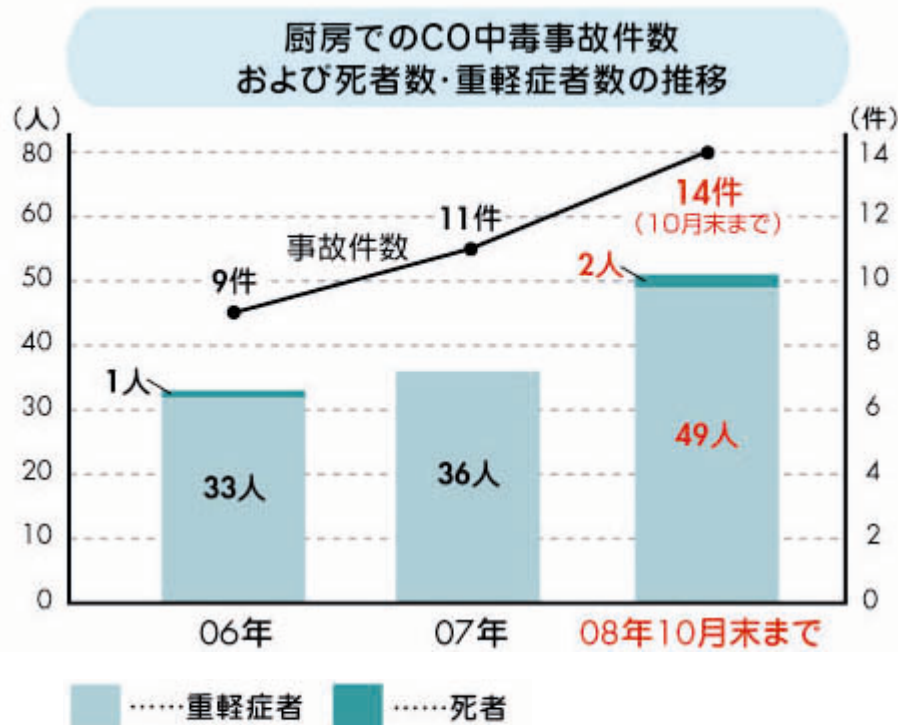
温泉用ガス検知器・警報器市場の
シェア50%以上を目指す



温泉用複合型ガス検知器
コスモテクター XP-3118S

ガス警報器市場の新たな動きと 当社の取り組み(2)

業務用厨房専用のCO警報器への注目



近年、業務用厨房での一酸化炭素(CO)中毒事故が増加



本年に入り、3度経済産業省 原子力安全・保安院より注意喚起が出される

行政・業界団体で取り組みを検討

当社の取り組み

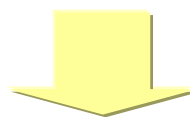


業務用厨房専用 不完全燃焼警報センサを開発

特徴

CO濃度で警報を出すのではなく、COHb(一酸化炭素ヘモグロビン)濃度を推定して警報を出す

都市ガス事業者・LPガス事業者中心に積極的にPR



外食産業(ファーストフードチェーン店など)で取り付けが進む

本資料における注意事項等

- 本資料には新コスモス電機株式会社(以下、弊社)の業績、戦略、事業計画などに関する将来的予測を示す記述および資料が記載されております。
- これらの将来的予測に関する記述および資料は過去の事実ではなく、発表時点で入手可能な情報に基づき弊社が判断した予測です。
- また経済動向、他社との競合状況などの潜在的リスクや不確実な要因も含まれています。その為、実際の業績、事業展開または財務状況は今後の経済動向、業界による競争、市場の需要、その他の経済・社会・政治情勢などの様々な要因により、記述されている将来予測とは大きく異なる結果となる可能性があることをご承知おき下さい。

【本資料及び当社IRに関するお問い合わせ先】
新コスモス電機株式会社 総務グループ
TEL 06-6308-3112
URL <http://www.new-cosmos.co.jp>

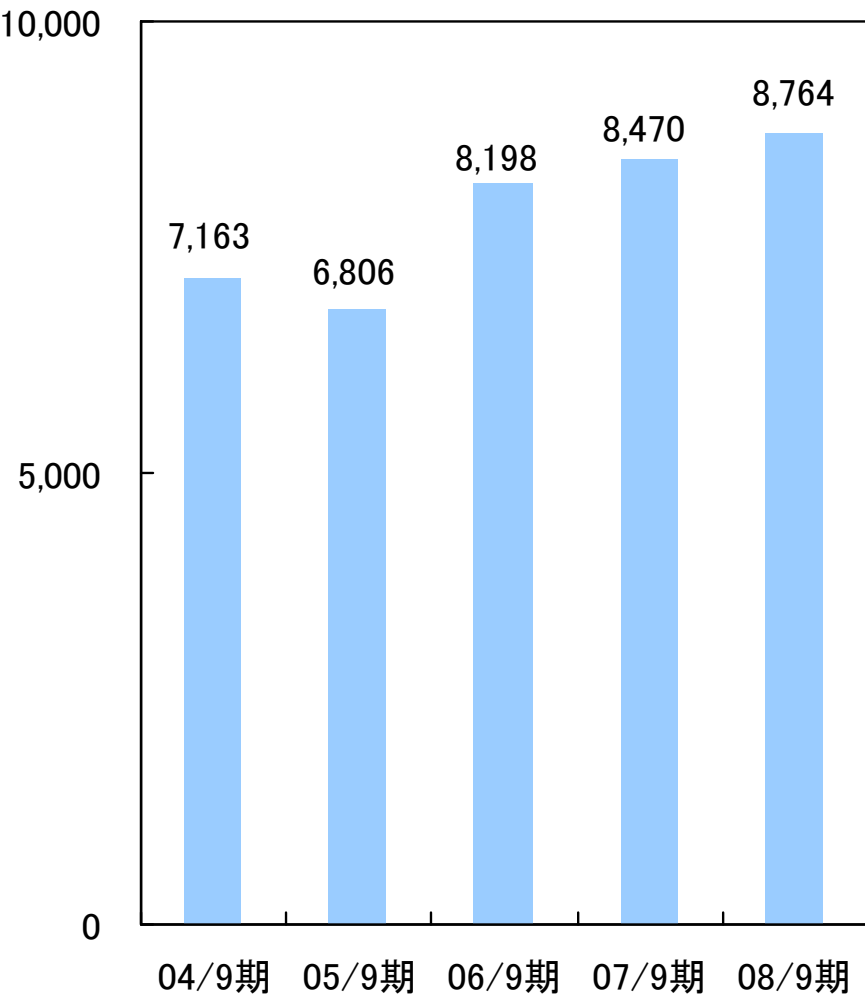
ご清聴ありがとうございました

参考資料.業績と経営指標

第2四半期累計売上高・利益の推移(連結)

(百万円)

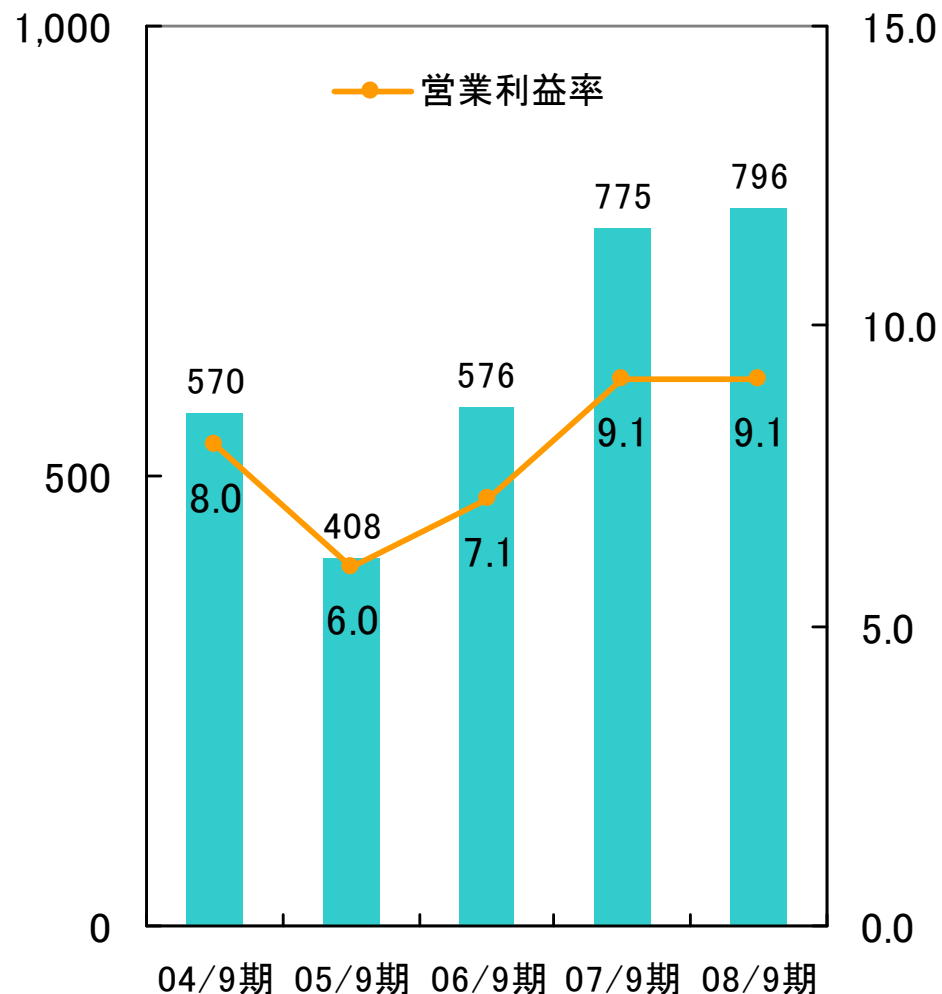
売上高



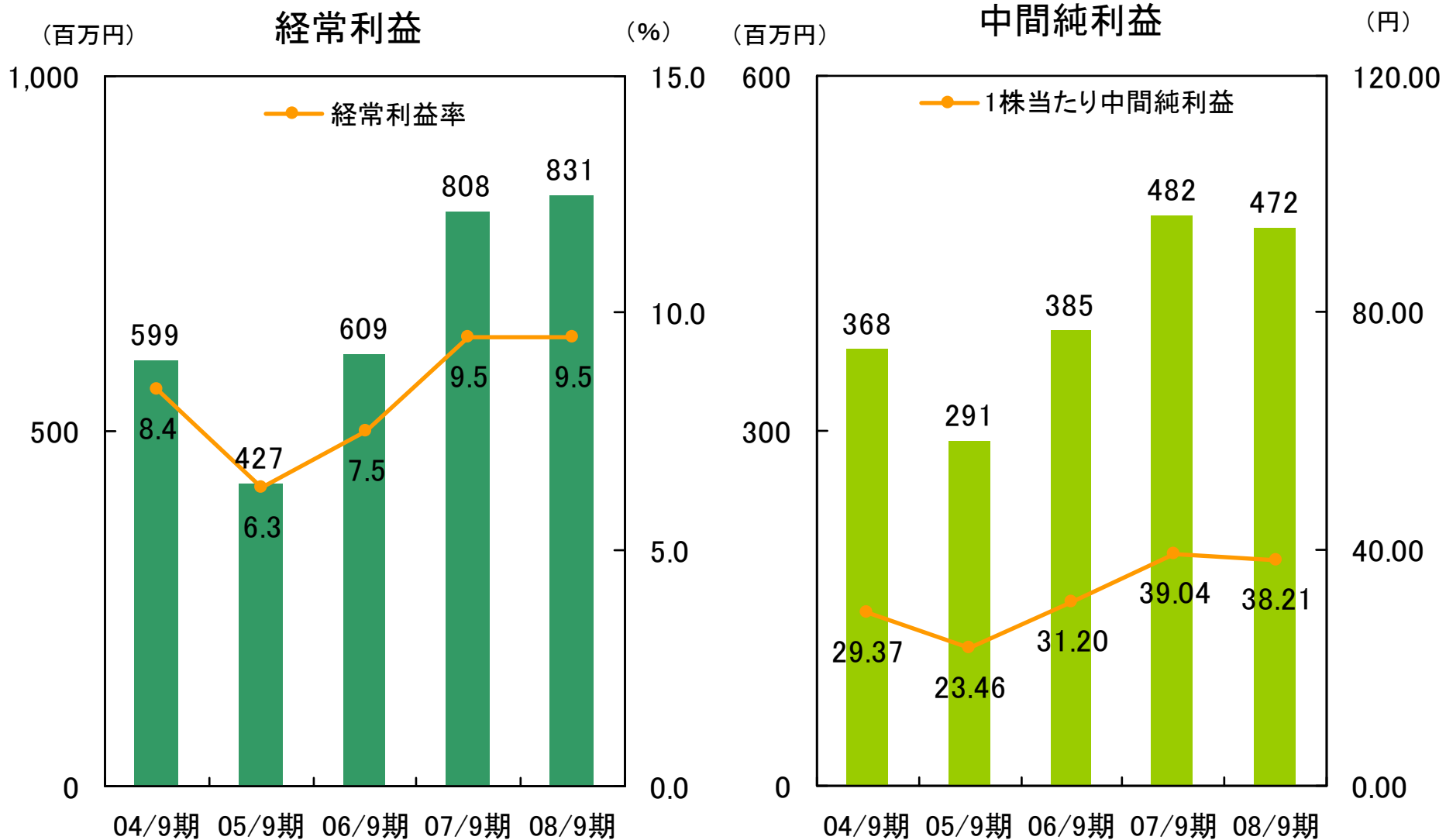
(百万円)

営業利益

(%)



第2四半期累計売上高・利益の推移(連結)



第2四半期累計売上高・利益の推移(連結)

主な変動要因

(06/3期)

家庭用都市ガス警報器の更新需要の端境期および価格競争の激化による販売の停滞により減収減益

(07/3期)

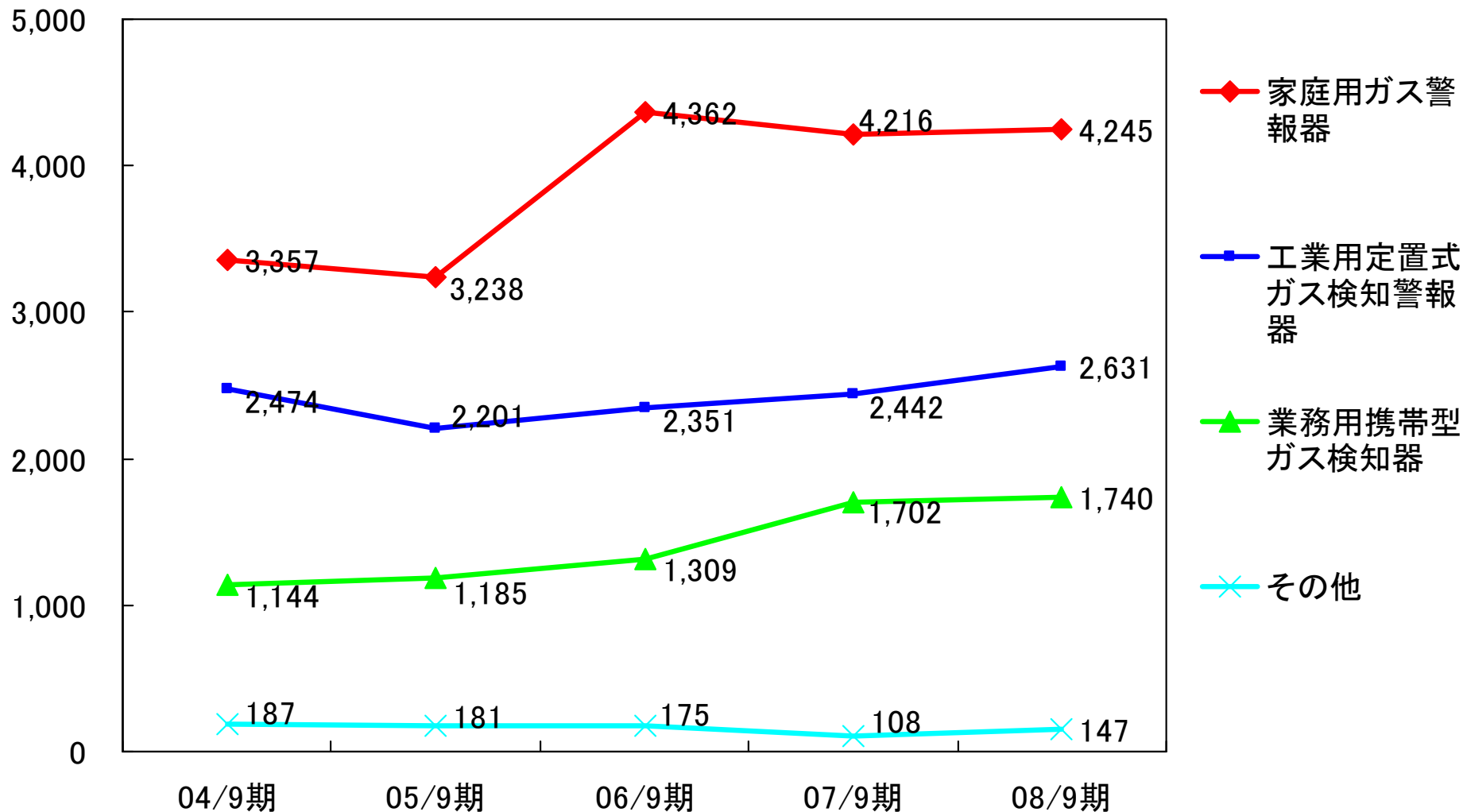
家庭用都市ガス警報器が更新需要の端境期を脱し、住宅用火災警報器が好調に推移、産業用のガス検知警報器も堅調に推移し増収増益

(08/3期)

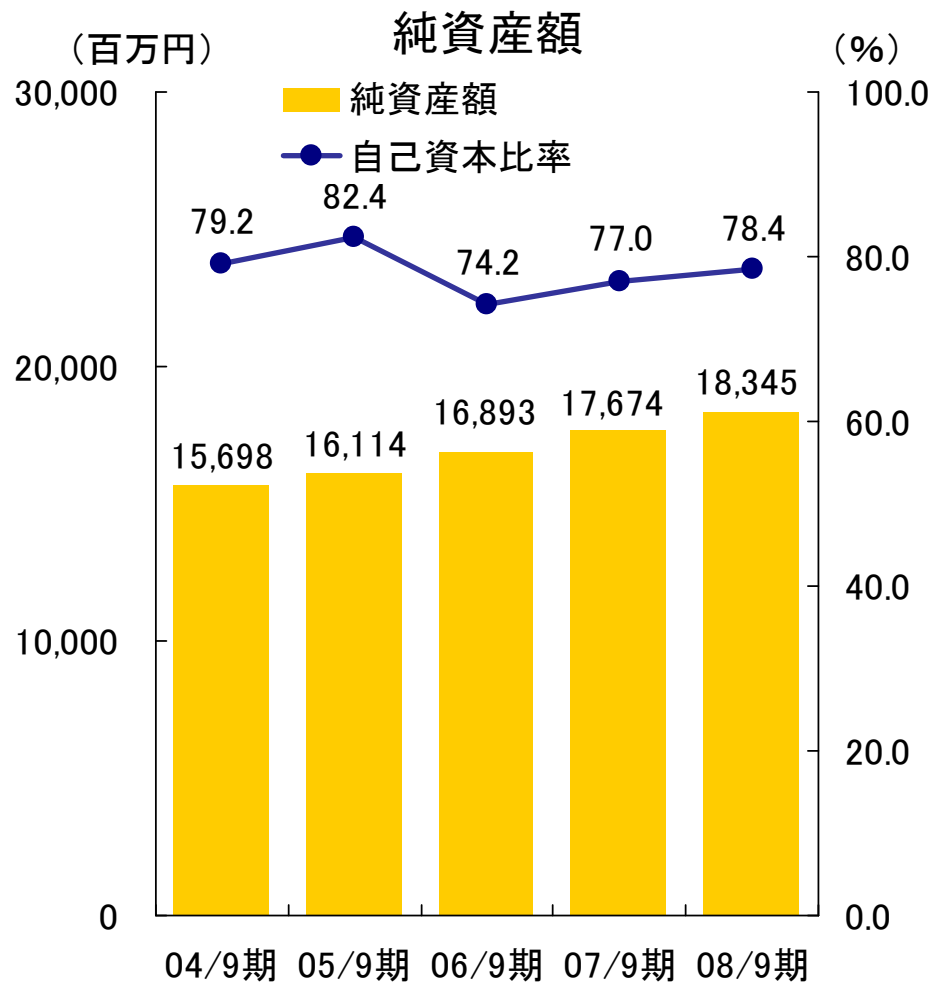
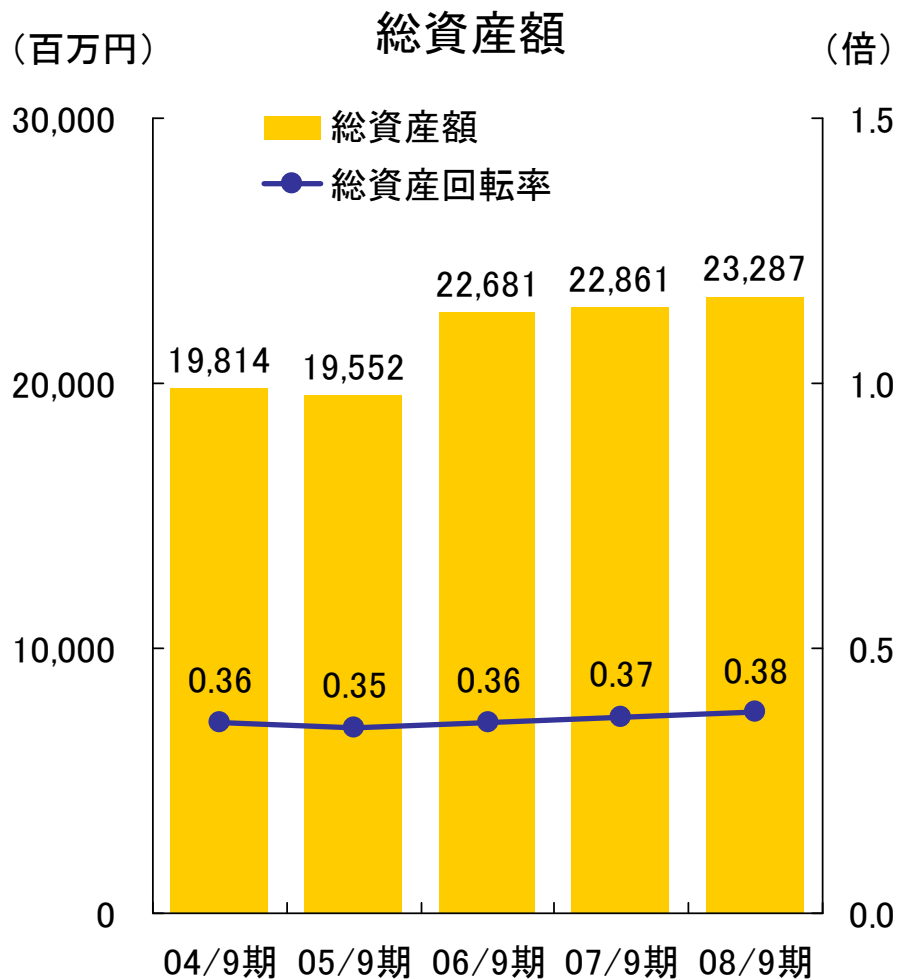
ガス器具点検用の携帯型ガス検知器と火災警報機能付都市ガス警報器の伸張、工業用定置式ガス検知警報器の堅調な推移により増収増益

第2四半期累計商品別売上高の推移(連結)

(百万円)



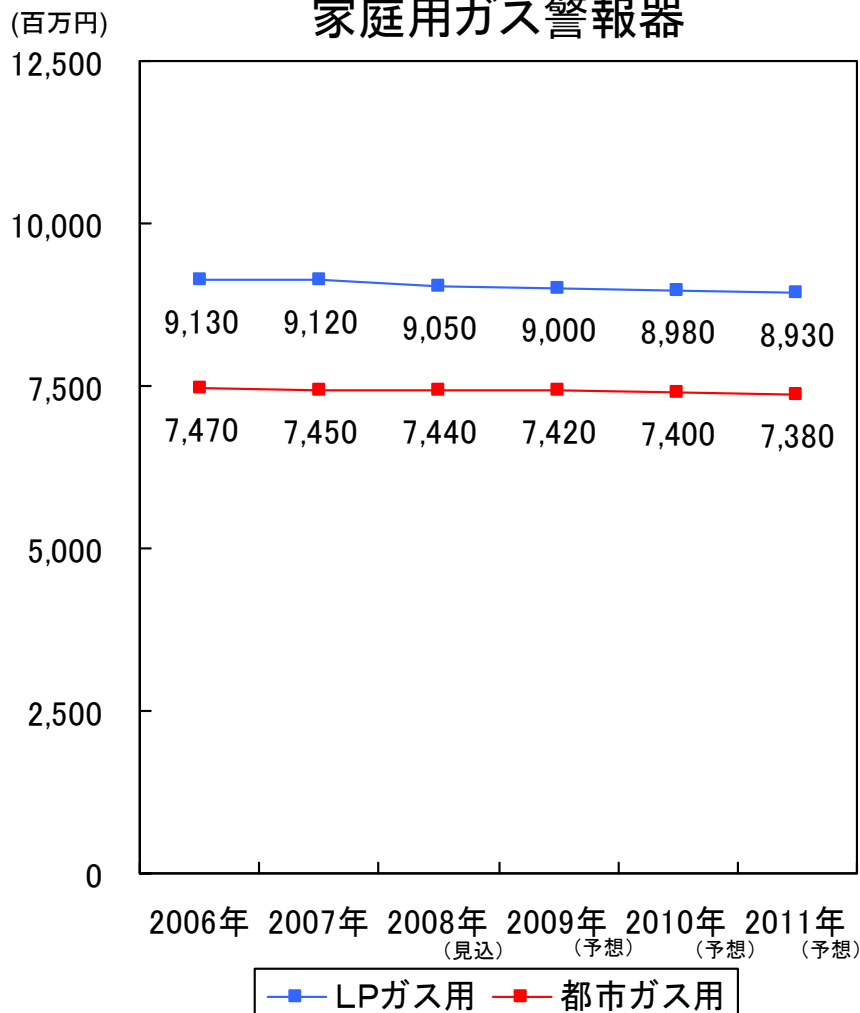
第2四半期 財務の状況(連結)



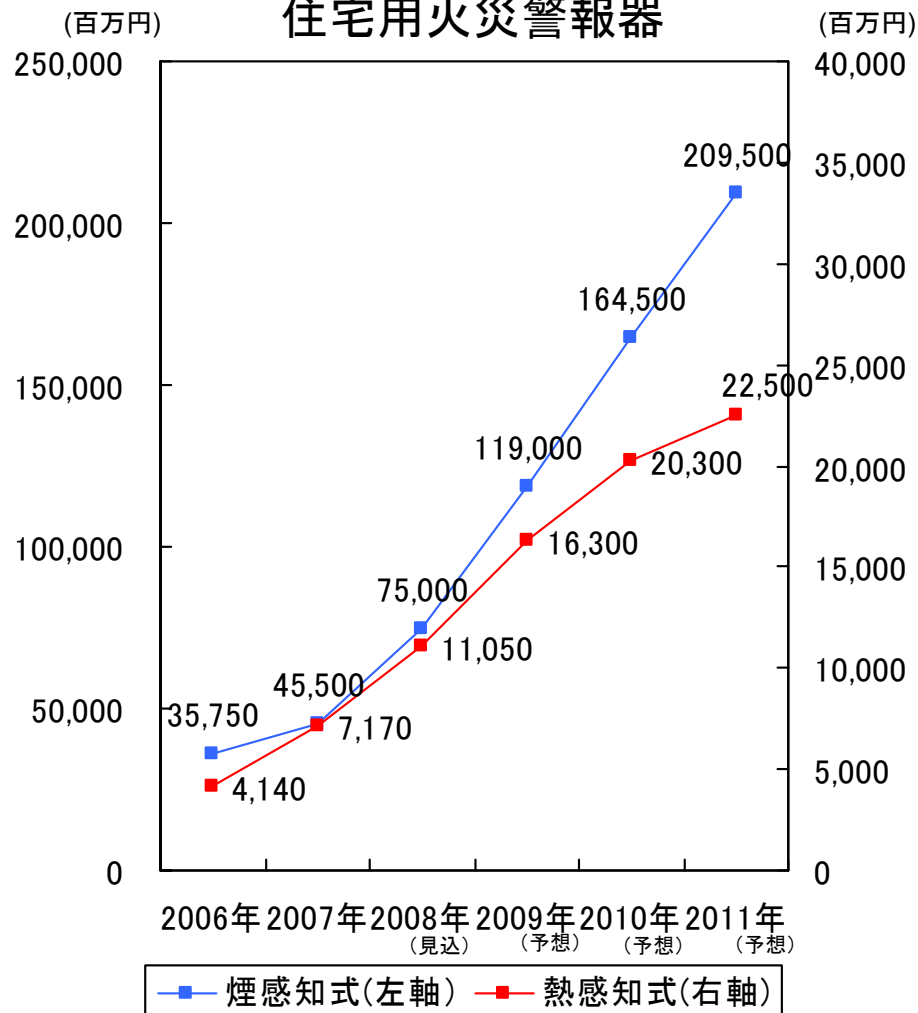
(参考資料)

市場規模推移

家庭用ガス警報器

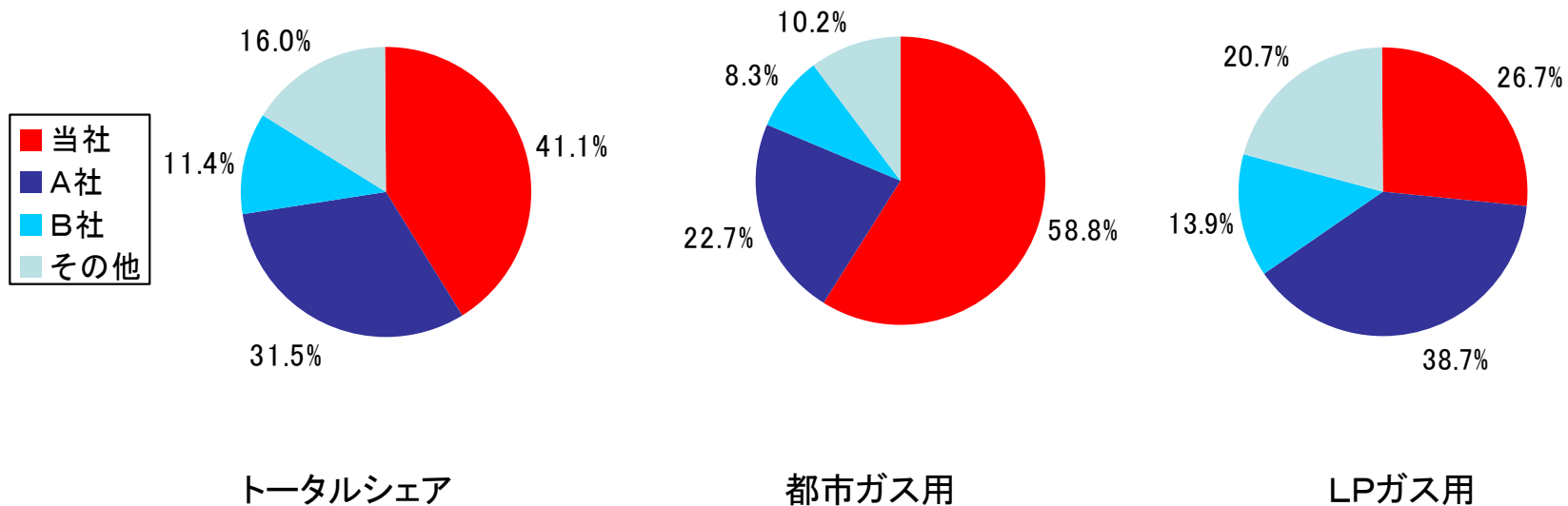


住宅用火災警報器



出典: 富士経済「2008セキュリティ関連市場の将来展望」

(参考資料) 家庭用ガス警報器企業別シェア



出典: 富士経済「2008セキュリティ関連市場の将来展望」